

バックアップしたデータを見る

本機は、録画したデータを USB メモリーにバックアップすることができます。バックアップした録画データは、バックアップの形式によって、PC や本機で再生できます。バックアップの形式には、DVR Media Player 形式（実行ファイル形式）、M4V 形式、独自形式の3種類があります。（P. 5-15 「バックアップ」）

■ DVR Media Player 形式

バックアップ、もしくは簡易バックアップによって DVR Media Player 形式に保存された録画データを PC で再生できます。DVR Media Player ファイルは USB メモリーの直下に保存されます。DVR Media Player ファイルはビューアーを含む実行ファイル形式（exe 形式）なので簡単に再生することができます。

[DVR Media Player 形式のファイル]

（例）untitled.exe

● DVR Media Player 形式のファイルを再生する

DVR Media Player 形式のデータは、Internet Explorer を使って再生します。

メモ

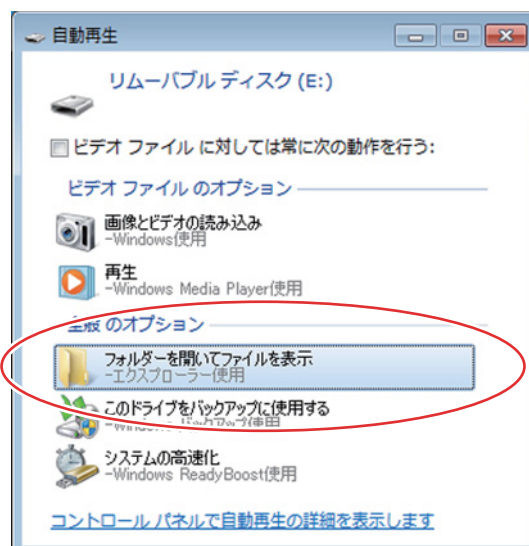
- Internet Explorer の対応バージョンは、Web ブラウザーと同じです。（P. 8-23 「Web サーバー仕様」）
- 解像度 D1（720×480）で録画されたバックアップデータは、再生時に自動でくし状のインターレースノイズを除去して表示します。ただし、自動的に判断するため、インターレースノイズが除去されないことがあります。

ご注意

- DVR Media Player 形式のデータを再生するために PC にログインするときは、管理者（Administrator）権限を持つユーザーアカウントを使用してください。
- 再生する PC によっては、再生音が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。このようなときには別の PC で再生してください。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で、バックアップデータを再生できます。

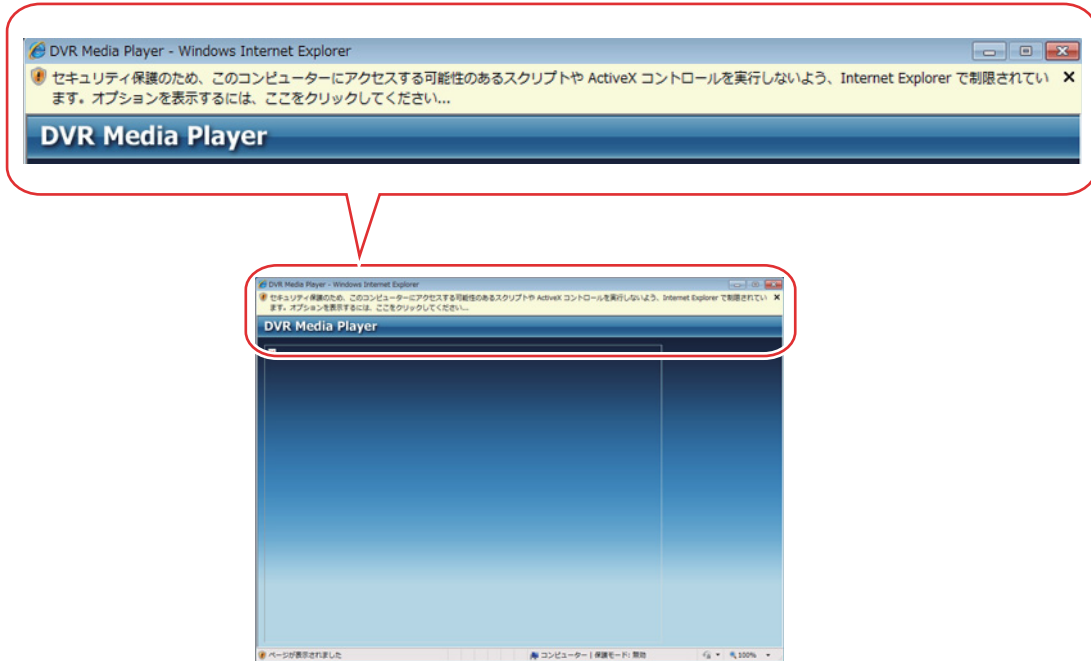
- 1** バックアップデータが保存されている USB メモリーを PC に挿入する。
自動再生画面が表示されます。
- 2** 「フォルダを開いてファイルを表示」を選択し、クリックする。



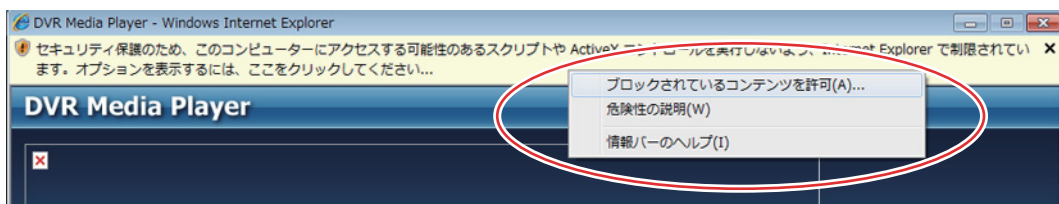
フォルダ内のファイルが表示されます。

3 フォルダ内にある再生したいバックアップファイルを選択し、ダブルクリックする。
実行すると Internet Explorer で DVR Media Player が起動し、以下のセキュリティ保護に関するメッセージが表示されます。

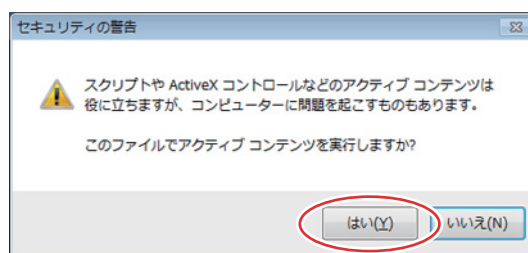
4 メッセージをクリックする。



5 メニューから「ブロックされているコンテンツを許可 (A) ...」をクリックする。



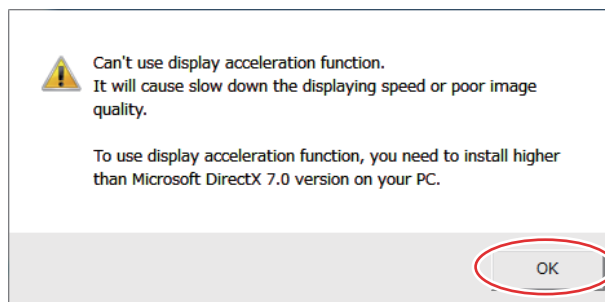
6 セキュリティ警告のメッセージが表示されるので「はい (Y)」をクリックする。



DVR Media Player 画面が表示されます。

ご注意

- Internet Explorer 9 / 10 / 11 を使用して DVR Media Player を起動する際、以下の警告メッセージが表示される場合があります。「OK」をクリックしてください。



DVR Media Player 画面が正しく表示されない、または、警告メッセージを表示しないようにする場合は、以下の手順で設定を変更してください。

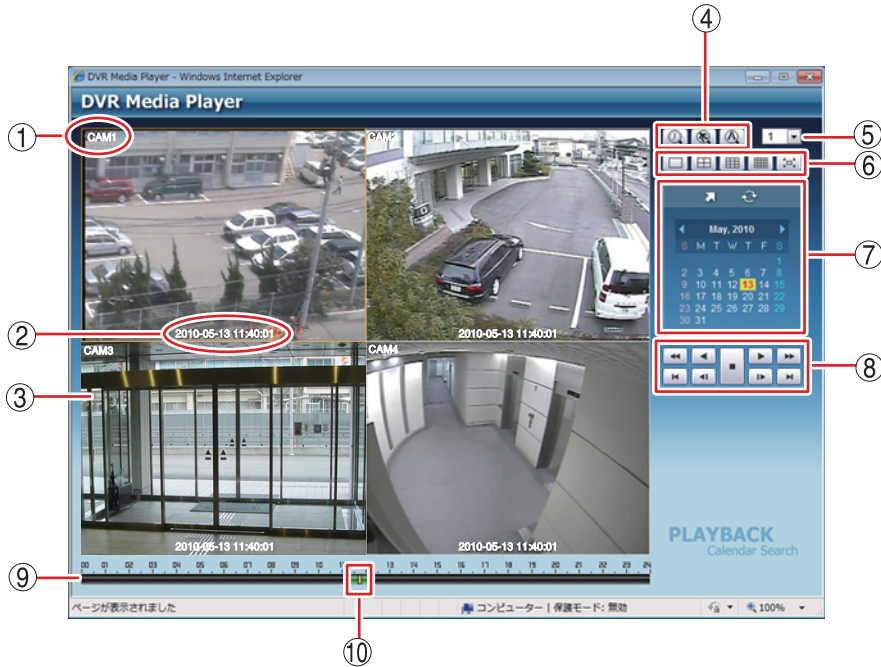
1. Internet Explorer を起動する。
 2. 「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
 3. 詳細設定タブを開く。
 4. 「GPU レンダリングでなく、ソフトウェアレンダリングを使用する」にチェックを入れる。
 5. 「OK」をクリックし、Internet Explorer を終了する。
 6. DVR Media Player を再起動する。
- Windows 8.1 (64 bit 版) または、Windows 10 (64 bit 版) の Internet Explorer 10 / 11 を使用して DVR Media Player を起動する場合、Internet Explorer の拡張保護モードが有効になっていると動作しません。以下の手順で設定を確認し、変更してください。
 1. Internet Explorer を起動する。
 2. 「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
 3. 詳細設定タブを開く。
 4. 「拡張保護モードを有効にする」にチェックが入っている場合は、チェックを外す。(初期設定では、チェックは入っていません。)
 5. 「OK」をクリックし、Internet Explorer を終了する。
 6. DVR Media Player を再起動する。









● DVR Media Player 画面表示について

DVR Media Player は再生開始日時の指定、複数カメラチャンネルの分割表示、再生などの操作ができます。

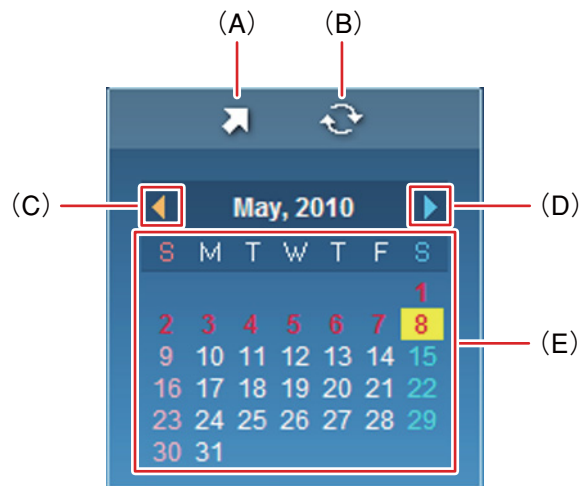
ご注意

Internet Explorer の画面表示の拡大率を 100%以外に設定しているときは、正しく画面を表示できません。



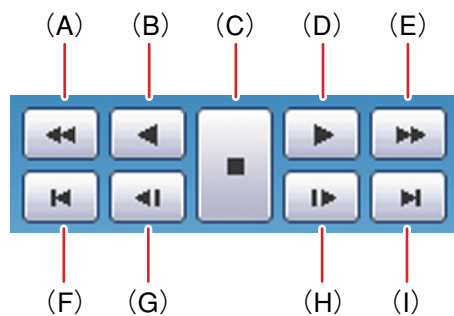
- ① カメラ名 : 再生中のカメラ名を表示します。
- ② 再生日時 : 再生中の日時を表示します。
- ③ 映像表示画面 : バックアップデータの再生映像を表示します。1画面や分割画面表示ができます。再生映像をダブルクリックすると、1画面表示と分割画面表示を切り換えます。
- ④ 検索アイコン部
 -  : カレンダー検索モードに切り換わります。映像表示画面下にタイムテーブルが表示されます。
 -  : 使用できません。
[メ モ] バックアップデータではイベント検索はできません。
 -  : 使用できません。
- ⑤ カメラ選択 : 選択したカメラ番号を含む画面分割表示に切り換えます。
- ⑥ 画面分割表示アイコン部
 -  : 1画面表示します。
 -  : 4分割表示します。
 -  : 9分割表示します。(8局用、16局用のみ)
 -  : 16分割表示します。(16局用のみ)
 -  : 全画面表示します。画面をクリックすると全画面表示を解除します。

- ⑦ 検索表示部 : カレンダー検索画面が表示されます。



- (A) 時刻指定ボタン : 再生する時刻を入力します。
 (B) 更新ボタン : 使用できません。
 (C) 前月ボタン : カレンダーを1月分戻します。
 (D) 翌月ボタン : カレンダーを1月分送ります。
 (E) カレンダー表示部 : 再生する日をクリックすると、その日の録画データをカラーバーとしてタイムテーブルに表示します。
 文字が赤色 : バックアップデータのある日
 背景が黄色 : タイムテーブルに表示中の日

- ⑧ 再生操作部



- (A) 早戻し再生 : 早戻し再生を行います。クリックごとに逆再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と5段階で変化します。
 (B) 逆再生 : 逆再生します。
 (C) 停止 : 再生を停止します。
 (D) 再生 : 再生します。
 (E) 早送り再生 : 早送り再生を行います。クリックごとに再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と5段階で変化します。
 (F) 最古 : バックアップデータの最古の映像を頭出しします。
 (G) コマ戻し : コマ戻し再生を行います。
 (H) コマ送り : コマ送り再生を行います。
 (I) 最新 : バックアップデータの最新の映像に移動します。

第5章 その他の機能

- ⑨ タイムテーブル : 録画データは10分ごとのカラーバーで表示します。カラーバーはすべてのカメラの録画データを合わせて表示します。
- ⑩ 時刻カーソル : 再生を開始する位置を指定するためのカーソルです。タイムテーブルをクリックするとバックアップデータの時間範囲内でカーソルが移動します。また、カレンダー検索モード時の時刻指定ボタンで「時、分、秒」を変更して指定することもできます。
- 時刻カーソルの移動は10分単位になります。

● 音声を再生する

DVR Media Player形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声を出力することができます。音声は1画面再生中に出力されます。

● ご注意

- 再生速度を変更したとき、分割画面表示中、および逆再生中は音声は出力されません。
- 再生するPCによっては、再生音声が出ないことがあります。このようなときには、別のPCで再生してください。

■ M4V形式

クリップ作成を行いM4V形式に保存されたバックアップデータをPCで再生できます。

M4V形式を再生するにはH.264形式のファイルを再生できるプレーヤー（例：QuickTime 7など）がインストールされている必要があります。

QuickTime 7のインストーラーはApple社のwebサイト <http://www.apple.com/jp/QuickTime/download/> から入手してください。

M4V形式のファイルはUSBメモリーの直下に保存されます。

[M4V形式のファイル]

(例) untitled.m4v

● M4V形式のファイルを再生する

ご注意 再生するPCによっては、再生音声が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。このようなときには別のPCで再生してください。

以下の手順でM4V形式ファイルを再生できます。

1 バックアップデータが保存されているUSBメモリーをPCに挿入する。

以下の画面が自動で表示されます。



2 「フォルダを開いてファイルを表示」を選択し、クリックする。

フォルダ内のファイルが表示されます。

3 再生用プレーヤーを起動する。

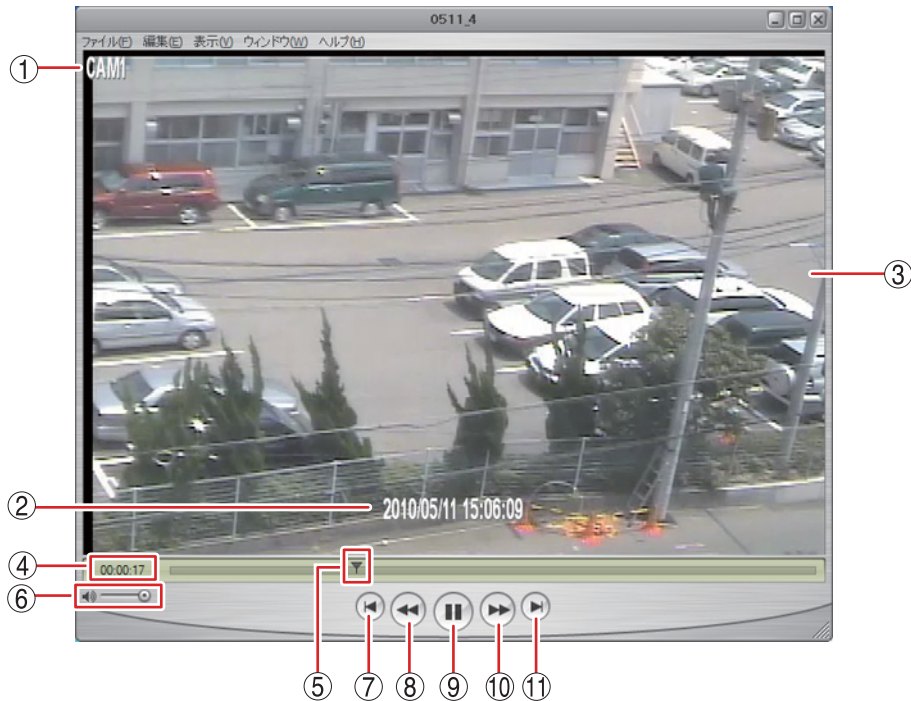
4 プレーヤーの「ファイル」→「ファイルを開く」を選択する。

5 再生したいM4V形式のファイルをUSBメモリーから選択する。

● QuickTime Player 画面表示について

以下では、M4V形式の再生プレーヤーの例としてQuickTime Playerの動作を説明します。

☒ ☒ QuickTime 7 をご使用ください。



- ① カメラ名 : 再生中のカメラ名を表示します。
- ② 再生日時 : 再生中の日時を表示します。
- ③ 映像表示画面 : バックアップデータの再生映像を表示します。
- ④ 再生時間 : バックアップデータ先頭からの経過時間を表示します。
- ⑤ 再生バー : 再生中の位置を表示します。また、一時停止中または再生中に再生バーをクリックするとその位置まで再生バーと映像が移動します。
- ⑥ ボリューム : つまみをドラッグすると、音量を調節できます。スピーカマークをクリックすると、ミュートのON/OFFを切り換えることができます。
- ⑦ 最古ボタン : 再生中の映像を停止し、最古の映像を表示します。
- ⑧ 早戻しボタン : 押し続けている間、早戻し再生を行います。
- ⑨ 一時停止/再生ボタン : 再生中は一時停止ボタンとなり、再生中の映像を一時停止します。一時停止中は再生ボタンとなり、再生バーのカーソル位置から再生を行います。
- ⑩ 早送りボタン : 押し続けている間、早送り再生を行います。
- ⑪ 最新ボタン : 再生中の映像を停止し、最新の映像を表示します。

■ 独自形式

バックアップまたは簡易バックアップによって独自形式に保存されたバックアップデータを本機やPCで再生できます。PCで再生する場合は、付属のネットワークソフトウェア DRNET を使用します。DRNET での再生方法については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。





独自形式のファイルは USB メモリーの直下に保存されます。

[独自形式のファイル]

(例) untitled.strg

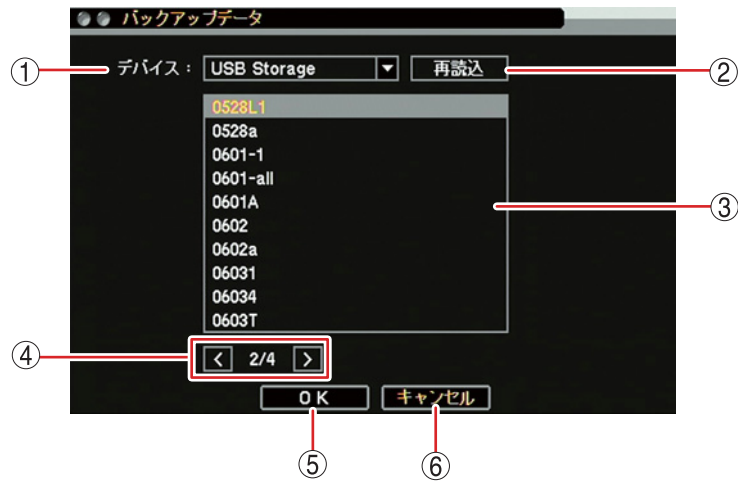
● 独自形式のファイルを本機で再生する

以下の手順で、本機にて独自形式のファイルを再生できます。

- 1 独自形式のファイルが保存されている USB メモリーを本機のバックアップ専用端子に接続する。
- 2 ライブ操作メニューの「再生」を選択し、 キーを押す。
再生データ選択メニューが表示されます。
- 3 「バックアップデータ」を選択し、 キーを押す。
バックアップデータ選択画面が表示されます。
- 4 「デバイス」で「USB Storage」を選択し、 キーを押す。
USB メモリーに保存された独自形式のファイルがリスト表示されます。
- 5 再生したいバックアップデータ（ファイル名）を選択し、 キーを押す。
再生画面に選択したバックアップデータの最新時刻の映像が表示されます。
- 6 再生操作を行う。
再生方法については、P. 5-5 「再生操作」を参照してください。



[バックアップデータ選択画面]



- ① デバイス : バックアップデータの保存メディアを選択します。
- ② 再読込 : デバイスの再読み込みを行います。
- ③ リスト : 保存メディア内にある独自形式ファイルをリスト表示します。上下キーで再生したいファイルを選択します。
- ④ ページ切り換え : ◀ ▶ でページを切り換えてリスト表示します。
- ⑤ OK : バックアップデータの読み込みを行い、再生画面に戻ります。
- ⑥ キャンセル : バックアップデータの読み込みを行わず、再生画面に戻ります。

● 独自形式のファイルを PC で再生する

ネットワークソフトウェア DRNET がインストールされている PC に USB メモリーを接続し、再生したい独自形式のファイルをダブルクリックすると DRNET が起動し、再生可能な状態となります。

☒ ☒ DRNET のインストールおよび再生方法については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。